

## マーケットの動き（2023年5月22日～5月26日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。米国債務上限問題を巡る協議が続く中、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官から利上げ継続に前向きな発言が相次ぎ米国金利が上昇基調となったことから、国内債券も金利は上昇しました。

クレジット市場は、新発債の発行額を上回る投資家の需要がみられるなど底堅い展開となりました。

## 投資環境見通し（2023年5月）

## 国内長期金利の上昇圧力は続く

日銀は新総裁の下において、金融政策の早急な修正に対して慎重とみられます。ただし、日銀短観でみられた人手不足感や物価上昇圧力、現行のイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の副作用への問題意識、金融緩和の長期化が必要と判断される場合の「持続的な金融緩和のあり方」を模索する姿勢を勘案すれば、イールドカーブ・コントロールの修正が意識されやすく、国内長期金利の上昇圧力は続くとみています。

	5月26日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.43	0.03	▲0.03	0.17	0.20
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	375.27	▲0.12%	0.52%	0.84%	▲1.19%

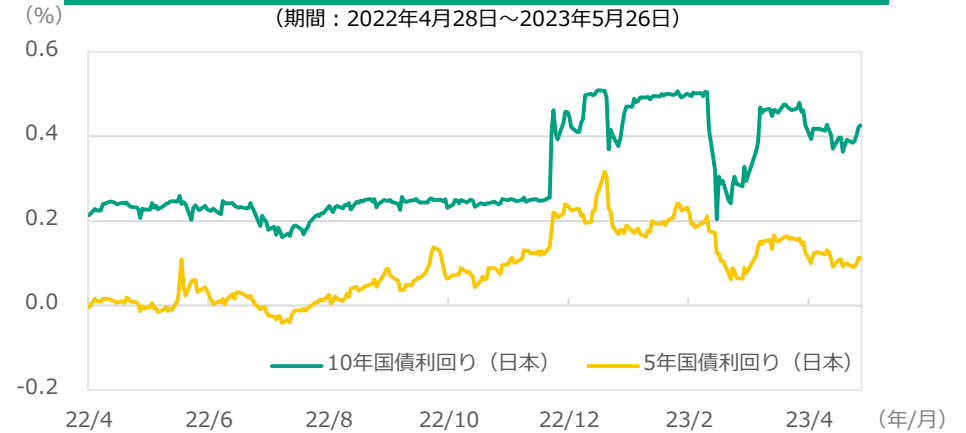
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202305\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202305_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 日本国債利回りの推移



## NOMURA-BPI総合指数の推移



※2022年4月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成